



埼玉県マスコット「コバトン」

# Ⅲ 昨年度と比べ 違ってきたこと・困っていること

事例提供いただいた方に、感染防止対策活動を行う上で「昨年度と比べて違ってきたこと」「困っていること」をお寄せいただきました。

カテゴリ	詳細
健康課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 慢性的な頭痛が増加している</li> <li>• 便秘による腹痛や悪心が増加している</li> <li>• 児童生徒が相当なストレスを抱えていると推察され、不登校が増加傾向にある</li> <li>• 視力の低下や頭痛を訴える児童生徒の増加がみられる</li> <li>• 不登校傾向の児童生徒の早期発見が難しい</li> <li>• 感染症疑いの体調不良者と心因性体調不良者の混在により、心因性と思われる児童生徒の対応に十分な時間と場所の確保ができていない</li> <li>• 運動量が減り、骨折などの大きなけがが増えた</li> <li>• 欠席が長期化してしまう児童生徒の増加が懸念される</li> <li>• マスクによる口呼吸が増えたためか、歯垢・歯肉炎が増加傾向</li> <li>• オンラインによる児童生徒の心身への影響が心配</li> <li>• コロナ予防と熱中症予防の両立におけるマスク指導に苦慮している</li> <li>• 児童生徒の歯と口の健康状態悪化が心配</li> <li>• 臨時休業、分散登校により学校生活が安定しないため、メンタル不調を訴える児童生徒にとって厳しい面が多い</li> </ul>
コロナ慣れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 長引くwithコロナで感染対策が緩んできた</li> <li>• 感染を恐れている割には、慣れが生じて他人事のようにになっている</li> <li>• 予防行動が不十分になりがち</li> <li>• 予防意識が低下している</li> <li>• 先が見えない状況でのあきらめに似た疲弊感をどう打開したらいいのか苦慮している</li> <li>• 検温が疎かになっている</li> <li>• 指導内容が変わらないため、新鮮味が欠け、アイデアが尽きてきた</li> <li>• 子供たちがのびのび活動できる環境が提供できていない</li> <li>• マスクを外したり、距離感が近かったりする児童生徒がいて、危機感・緊張感の維持が難しい</li> <li>• 大人も子供も感染予防行動に緩みが出てきている</li> <li>• 疲労の蓄積や慣れが生じており、感染症対策に対する温度差もある</li> <li>• 新規感染者数の減少に伴い、児童生徒、保護者、教職員で感染症対策に温度差がある</li> <li>• 危機感が個人によって大きく異なるため、足並みをそろえて対応を講じることが困難</li> <li>• 部活動の着替え時や歯みがき時の会話時に緩みが見られる</li> </ul>
感染拡大への不安	<ul style="list-style-type: none"> <li>• デルタ株の急増と児童生徒の感染者増加が懸念される</li> <li>• 保健所業務を請け負うことによる保健室経営の悪化が心配される</li> <li>• 変異株の感染拡大が心配される</li> <li>• 医療機関受診への敬遠が見られる</li> <li>• これまで保健所が行っていた業務を学校が中心となって行っていくことが不安</li> <li>• 複数名のPCR陽性者や濃厚接触者が発生した時の対応を随時確認できる体制がほしい</li> <li>• 変異株の出現で若者の感染者が増えており、これまでの対策でいいのか不安がある</li> </ul>

感染対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生に手洗いを徹底させるのが困難</li> <li>・生徒保健委員による手洗いチェックを行っているが、負担が大きく期間限定になっている</li> <li>・マスクを外した場面で工夫が必要</li> <li>・コロナ予防と熱中症予防の両立におけるマスク指導に苦慮している</li> <li>・過度にならず、ポイントを押さえた消毒作業を徹底したい</li> <li>・消毒作業の職員が配置されなくなり、人手不足でも継続可能な対策を検討する必要がある</li> <li>・学校医からは次亜塩素酸による消毒はしなくても良いと言われたが、感染症対策が緩んでしまいそうで、このまま消毒を続けるか悩んでいる</li> <li>・文部科学省のマニュアルの更新が止まっており、今までと同じ対策・教育活動の制限を続けていくべきか迷いがある</li> <li>・黙食が困難</li> </ul>
健康観察	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の欠席や体調不良等について、登校自粛やワクチン接種後の副反応等も加わったため状況把握が困難</li> <li>・Googleフォームによる健康観察を導入したが、活用しやすいように設定の改善をしたい</li> <li>・担任の負担が大きいので、効果的かつ負担の少ないシステムを構築したい</li> <li>・健康観察がマンネリ化し、健康観察カードを忘れてたり適当に記入する傾向が見受けられる</li> </ul>
情報収集	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の対応についての共通理解が不十分</li> <li>・日々更新される情報から、継続可能で効果的な対策を行う必要性を感じる</li> </ul>
ICT機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT環境整備、教員の研修の確保、ICT環境整備のための人材確保を進めていく必要がある</li> </ul>
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校の工夫について知りたい</li> <li>・様々な形式での実施方法を模索中</li> <li>・感染状況に応じて、大きく企画が変更になることに苦慮している</li> </ul>
保健室経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体調不良者の対応に悩むことが多くあった（器質性なのか、心因性なのか）</li> <li>・感染症疑いの体調不良者と心因性体調不良者の混在により、心因性と思われる児童生徒の対応に十分な時間と場所の確保ができていない</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ流行当初に急遽購入したものは使い勝手が悪く保管されたままになっている</li> <li>・熱中症対策について、より細やかな指導が必要</li> <li>・冬季は防寒対策も必要なので、アウター衣類の衛生面で指導が必要</li> </ul>